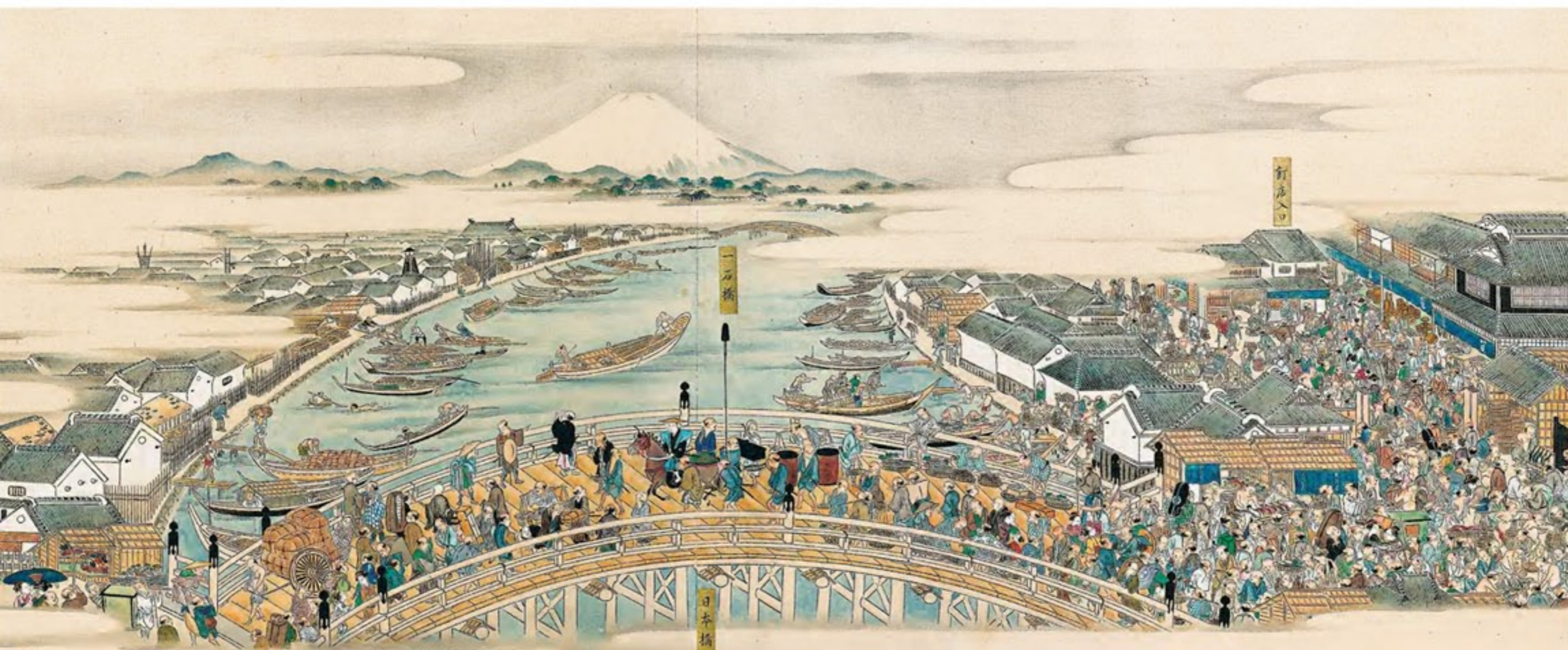


お手本は、ここにあった。



みんないい表情してるんです。これは、200年ほど前の江戸時代、日本橋通りの町人文化を描いた「熙代勝覧(きだいしょうらん)」という絵巻物です。

日本橋を渡る大勢の武士や町人たち。魚河岸に魚を運ぶ舟。日本橋川で遊ぶ子どもの姿。いま存在する店の暖簾や看板も見えます。そこには、生き活きた人々の暮らしがありました。


そして今年、江戸開府と同時に架けられて以来、20代目となる現在の日本橋が架橋100周年を迎えました。

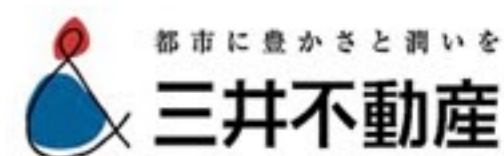
「西洋の模倣ではなく日本オリジナルをつくりたい」という、橋にこめられた意思を引き継ぎ、いま地域一体となったまちづくり、日本橋再生計画が進められています。

日本人の「こころ」と「わざ」が活かされた、世界に誇れる日本橋をつくりたい。この絵巻物に登場する江戸時代の先輩たちに負けない、未来の日本橋をつくりたい。

残しながら、蘇らせながら、創っていく。

日本橋再生計画

 日本橋架橋百年祭 10月29日(土) 30日(日) 開催



まち日本橋サイト <http://www.nihonbashi-tokyo.jp>